

入会のご案内

退職公務員新聞

一般財団法人 日本退職公務員連盟

〒113-0034 東京都文京区湯島4-12-3

☎03(3822)1216 FAX03(3824)7779

振替00150-9-94644

E-mail: yushima@nikkoren.info

号 外

会長挨拶

退職後の生きがいと安心を求めるには

一般財団法人 日本退職公務員連盟会長 鴨下 一郎



身の中に残ります。ご存知のように我が国は今、人類が経験したことがない超高齢社会を迎え、特に生産年齢人口の減少は、将来の国の在り方と経済に影響し、高齢者と女性の労働参加を強く求められています。

「皆様お疲れ様でした」。公務員の定年延長により、この言葉は相応しくない方がおられると思います。長年、公務員として国家社会のために人生を捧げてこられた事実と実績は、確実に国と社会にご自身の中に残ります。ご存知のように我が国は今、人類が経験したことがない超高齢社会を迎え、特に生産年齢人口の減少は、将来の国の在り方と経済に影響し、高齢者と女性の労働参加を強く求められています。

皆様には、健康で体力があり、「一人のため」という思いが「お住まいの都道府県退職公務員連盟」に奉仕を掲げ、社会者の先頭に立ち、高

齢者の生活を守り、子育て支援等で自身の社会的責任を果たそうとしています。皆様も健康と生きがいと人間関係を広げて自立した生活を願われる。この二つの活動が豊かに展開され、人類に残る超高齢社会構築という大きな事業に参加されませんか。

私は医者です。28年間衆議院議員を務めてきました。私のライフワークは社会保障。介護、医療です。会員の方々に介護が必要になったとき相談に乗って、高齢者施設等への道をつけるなど、「会員であるから将来が安心」という組織を考えたいです。それは会員の方々が安心して老後の生活を楽しめる組織であり、各会員の方々が地域の人々から尊敬され、組織としてあてにされる日公連、退公連になることでもあります。

日公連と年金制度

現在及び将来の年金給付が高齢者の生活を支える資金であり続けることを願います。

働き方・生き方が多様化する時代 世界が注目する心がかよい助け合いが行われる 高齢社会構築という壮大な事業に参加されませんか

われらの信条

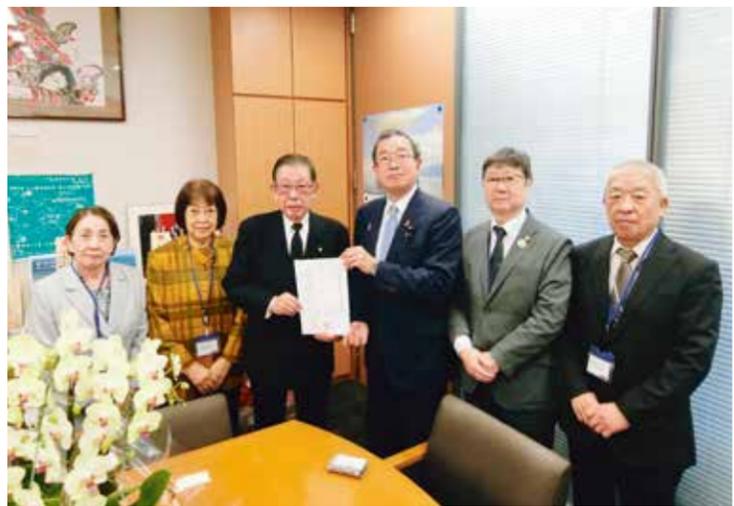
- 一、われらはかつて公務員であった矜持と面目を堅持しつつ、理想的な日本公務員制度の確立を要望する
- 一、われらは全国民の福祉増進を念じつつ進んで公共に奉仕し平和的文化国家建設の大業に寄与する
- 一、われらは和を貴ぶ 同胞融合 隣保相助の民風を尊重し身をもってその育成につとめる
- 一、われらは思想的 政治的自由をもち 常に公正と中庸において帰一する
- 一、われらは組織のもとに団結する われらの生活はこの組織と団結によって断固自ら守りぬく

一般財団法人 日本退職公務員連盟

退公連が目指すもの

- ◎退職後の生活保障
 - ▼年金制度の改善 高齢者医療、介護制度の改善・充実
 - ▼高齢者及び女性の雇用、公務の特殊性に配慮した年金制度の確立
 - ▼社会保障制度の情報提供 年金相談の実施と充実
- ◎現職の人々への支援
 - ▼年金制度の持続と次世代への引き渡し
 - ▼子育てに伴う経済不安等の払拭活動
- ◎社会貢献活動に積極的参加
 - ▼大人として、隣人として子どもの成長を見守る活動、伝統文化の伝承
 - ▼高齢者施設・一人暮らしの世帯の慰問、街の清掃等による心が通い合う活力ある地域づくり
- ◎会員相互の交流と地域との信頼関係づくり
 - ▼地域の人々と共に、健康づくり、旅行、趣味の活動、研修会等
- ◎人生100年時代、延びた時間で新しい人生をつくる

日公連の主張が年金制度改革に反映



青森県連の要望活動 (令和7年11月14日)

衆議院議員・青森県連盟顧問 津島 淳先生訪問

青森県連会長・奈良年永 事務局長・樋口 純 会計部長
・山本恵子 むつ下北副会長・山本隆悦 弘前支部理事・
中山慶治 三戸郡支部副会長・川崎照美

年金制度改革法案が、6月13日、自民・公明・立憲民主3党の賛成多数で可決成立しました。日公連は、法案が国会に提出される前に関係大臣に要望の趣旨を伝えることにより、法案への反映を求めるとし、社会保障対策委員会を開催して緊急要望をまとめ、今年1月に総務大臣、厚生労働大臣に、鴨下会長が直接会って要望しました。また、自民党からの年金改正に関するヒヤリングに出席し、緊急要望の内容を説明し理解を求めました。要望内容の①は、マクロ経済スライドの早期終了です。その趣旨は、調整を早期に終

了し、本来の年金額の改定方法、つまり、物価や賃金の変動に同じたものに戻してほしいというものです。この事項は、積立金の活用について、納得のいく説明を求めています。②は、基礎年金拠出期間の延長です。拠出期間の延長は、就労年齢の変化や健康寿命の伸びなどを考えると延長することにより、将来の年金額増につなげることができ、法案に盛り込むよう要望したものです。③は、厚労省は、拠出額が大きいなどの批判があるとして法案に盛り込むことを断念しました。改正法では、附則に検討事項として規定しました。これも成果の一つと言えます。④は、被用者保険の適用拡大です。この事項は、前回改正以降適用拡大を実施中ですが、さらに進めることにより、本人の将来の年金額が増額されることから、要望では、「確実に実施」することを求めています。

今回の改正では、短時間労働者の賃金要件を撤廃、適用対象となる企業が増加、適用対象となる業種が増加するなど、当連盟の要望が概ね反映されました。

会員の生き方と退公連の活動

東大医学部の起源とされる
お玉ヶ池種痘所の布芝居



郷土の小学校児童に、手作りの布芝居「伊東玄朴ものがたり」を上演。郷土の誇り伊東玄朴の功績を子どもたちに伝えたいとの思いから、退職女教師の会が余り布を縫い合わせ、3年がかりで布芝居を作り上げ

「布芝居」に見入る小学生達



郷土の偉人と布芝居

佐賀県退職公務員連盟 高柳 陽子

地元の小学校児童に、手作りの布芝居「伊東玄朴ものがたり」を上演。郷土の誇り伊東玄朴の功績を子どもたちに伝えたいとの思いから、退職女教師の会が余り布を縫い合わせ、3年がかりで布芝居を作り上げ

未来遺産「沼須人形芝居 あげぼの座」

群馬県退職公務員連盟 大島 俊夫



人形師の子どもたち



ユネスコ未来遺産認定祝賀会

受け継いできた伝統芸能といたすきを100年後の子どもたちにも繋げていきたいと、市内の全小学校で人形に触れさせ、体験させる学習を継続的に実施しています。沼須人形芝居のように子どもたちが積極的に参加し、地域の伝統芸能や文化遺産を保存推進する活動に対して、今後も退公連として積極的に連携・協力していきます。



「僕たちの未来からようこそ」のペープサート



近隣の保育園・幼稚園等で上演

青(あお)谷(や)上寺(かみじ)遺跡で発掘された頭蓋骨から復元された若者は、「青(あお)谷(や)上寺(かみじ)朗(ろう)」として誕生。この秘話を子ども達に伝えていきたいと

地域の宝を子ども達へ伝えることの喜びを感じながら

鳥取県退職公務員連盟 芳尾 範子

我ら退公連女性部は、「勝手に上寺朗を育てる会」と称してペープサート(ウチワ型紙人形劇)を作り、近隣の保育園・幼稚園、小学校、児童養護施設で上演しています。

入会のお誘い 加入するメリットは何ですか

日本退職公務員連盟組織委員長 門松 武則



入会を勧める際、この連盟にメリットがあるのかという人が多々あります。具体的メリットを3つお知らせします。

1、昭和23年「全国恩給増額期成同盟」が結成されました。それ以前には、恩給に関する組織はありませんでしたので国が恩給の額を決めていました。ところがこの恩給では、生活が成り立たないということで全国の教職員団体が立ち上がり、この連盟を作ったのです。従って連盟の存在そのものがメリットなのです。

2、平成27年10月厚生年金と共済年金が一元化されました。厚生年金は基礎年金、厚生年金の二階建てで年金が支給されます。一方私たち公務員は基礎年金、共済年金、職域部分の三階建てとなっていました。ところが公務員は退職金等で恵まれているから、三階部分をカットしようとの議論が出ておりました。

3、元環境大臣であり、医学博士の鴨下会長はこう言われました。「みなさん、もし認知症になり入所する施設が見つからないとき、また、病気にかかり入院する信頼のおける病院が見つからないときには、日本退職公務員連盟の助けを借りましょう。」

今、私たちの組織は会員数の激減により、組織の危機にさらされています。これを何とかして阻止しなければなりません。そのためには、会員数を増やすことが必要不可欠です。頑張りましょう。

心を育む読み聞かせ活動
言葉のシャワーの輪を広げて
石川県退職公務員連盟 町出 憲子



読み聞かせを聞く子ども達



「ありがとう」のメッセージ綴り

「今日は絵本を読んでくれてありがとう。すごくうれしかったです。」などの嬉しい感想に元気をもらいながら続けてきた読み聞かせ活動は今年で14年目になります。この活動は、子ども達に「目や耳や心で聞いて」と呼びかけて読み聞かせを始めると、子ども達は目をキラキラと輝かせ、身を乗り出して聞いてくれます。

日公連78年の歩み

- ①昭和23年2月「全国恩給増額期成同盟」誕生。
- ②同年5月第1回全国大会を開催、26道府県参加。
- ③同年7月恩給増額法可決 恩給額は12~26倍となる。
- ④同年11月「全国恩給受給者連盟」に改称。
- ⑤昭和24年加盟団体は46都道府県に、昭和33年沖縄県連の加盟により47都道府県になる。
- ⑥昭和25年「日本退職公務員連盟」と改称。
- ⑦昭和26年5月「退職公務員新聞」創刊。
- ⑧同年6月「財団法人日本退職公務員連盟」設立趣意書及び「われらの信条」を決議し、発表。
- ⑨昭和27年4月28日天野貞祐文部大臣より、「財団法人日本退職公務員連盟」の設立が許可される。

- ⑩連盟創立10~20周年の間に、毎年公務員給与アップに伴う恩給増額、不均衡是正など多くの運動の成果を挙げて組織も拡大した。
- ⑪昭和48年以降、公務員の給与の改善と物価の上昇率を恩給・年金に反映させる方式となる。第1回全国婦人部長会開催
- ⑫昭和49年日本退公連会館が竣工。
- ⑬日公連は公務員の職務の特殊性を主張。昭和61年公務員固有の「職域年金部分」が新設された。
- ⑭平成12~26年度本来水準を上回る年金額維持に尽力。
- ⑮被用者年金一元化により職域加算部分について一定の配慮措置がつく。
- ⑯平成25年4月『われらの信条』の下、「一般財団法人日本退職公務員連盟」として、社会保障制度改革に関する要望活動、地域社会の活性化に強力に、継続的に

- 関わる新たな活動のスタートをする。
- ⑰超高齢・人口減少社会における社会保障制度の在り方及び活力のある地域社会構築を今後の課題として取り組む。
- 年金制度の持続可能性の確保
- 将来世代の年金給付水準の確保に向けた努力
- 退公連と地域社会との関係強化
- 納得の人生構築に力を貸す活動
- 短時間労働者及び非適用職種で働く労働者の厚生年金適用拡大
- 年金加入期間の延長(20歳~60歳を20歳~65歳に)
- 受給開始年齢の選択肢を60歳から70歳へ拡大
- 物価上昇を上回る賃金の上昇の実現

今後の課題

共に行動し、健康と生きがいを生み出す退公連をつくらう

都道府県退職公務員連盟 支部名

令和7年度 会員構成

(令和7年8月末現在) 単位:人

正会員	男	100,310	職種別内訳	教職	79,404	郵政	799
	女	65,061		都道府県職	4,496	農林	89
準会員	51,585		職別内訳	市町村職	8,780	電電	32
	10,821			警察	3,764	専売	6
賛助会員	10,821		消防	1,839	国公	558	
会員総数	162,716		日鉄	48	その他	495	